

平成 29 年 7 月 31 日

千歳線音江別高台線踏切における架線損傷事故について

昨日（7 月 30 日）17 時 09 分頃、千歳線 北広島駅～島松駅間の音江別高台線踏切において、重機を積載したトラックが架線を損傷し、快速エアポートなど 61 本の列車が運休し、約 15,000 名に影響が出ました。

その後、踏切に設置してあるカメラ画像を確認したところ、明らかに高さ制限を超過した車両が、無理矢理踏切に進入し、架線（トオリ線）に接触し、損傷させていたことがわかりました。

踏切には、車両進入側に高さ制限標識（4.5m）が掲げてあり、万が一、高さ制限を超過した車が走行した場合に、架線を防護するために、踏切注意標（H鋼式）も、設備しておりました。

架線（トオリ線）には、電車に電気を供給するために、2万ボルトの電圧が印加されています。

[住 所] 北広島市新富町西 1 丁目 230

[踏切概況]

- ・踏切には、車両進入側に高さ制限標識（4.5m）が掲げてあります。
- ・また、万一、高さ制限を超過した車が走行した場合に、架線を防護するために踏切注意標（H鋼式）も、設備しておりました。
- ・架線（トオリ線）には、電車に電気を供給するために、2万ボルトの電圧が印加されています。

[列車影響]

- ・運休 61本（快速エアポート：29本、快速・普通：32本）
- ・遅れ 最大225分遅れ
- ・影響人員 約15,000名

トラックが積載した重機が架線（トロリ線）に接触した瞬間のようす
（踏切に設置したカメラの動画より）



損傷した架線（トロリ線）

